

令和3年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1年生は6つの領域のうちすべてで目標値を上回っている。
- ・2年生は6つの領域のうち5つの領域で目標値を上回っている。
- ・3年生は6つの領域のうちすべてで目標値を上回っている。

(2) 課題

- ・1年生は、領域別でみたときに「我が国の農業や水産業」において、目標値に対して平均正答率がわずかに上回る結果に止まった。日本地理は2年次での学習となるため、その際には基本的な事項に立ち返って授業づくりをしていきたい。
- ・2年生は、昨年度と同程度のスコアとなった。領域別にみたときに「世界の諸地域」の領域において、平均正答率が50%を下回っていることが課題である。「日本の地域構成」の領域で目標値を大きく下回っている。今後の授業で補っていきたい。
- ・3年生は、昨年度の正答率を上回った。この学年が課題としてきた短答形式問題の正答率も向上したが、語句ではなく短文形式で回答する問題の場合にはまだ改善の余地がある。また、「身近な地域の調査」の領域では前年度より正答率が低下しており、夏休みの宿題や、その後の復習によってフォローアップを図りたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

評価の記号は、目標値に対し「△上回っている」「≒同程度」「▼下回っている」を表しています。

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第1学年	目標値との比較△	/	/
第2学年	前年との比較-0.6 目標値との比較△	前年との比較-0.6 目標値との比較△ (第1学年時)	/
第3学年	目標値との比較△	目標値との比較△ (第2学年時)	目標値との比較△ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも大きく上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも大きく上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも大きく上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回ってはいるが、依然として基礎・基本の定着が課題としてあげられる。引き続き小テストを実施していくほか、復習課題の設定により、知識・技能の習得に取り組んでいく。	目標値を上回ってはいるが、より思考力・判断力を伸ばしていけるよう、単元間のつながりを常に思考させる授業展開を心がける。また表現力を高めるために、論述やレポート課題等を導入していく。	目標値を上回ってはいるが、生徒が主体的に学習に取り組めるような明確な課題設定をするとともに、タブレットも活用した授業を導入していけるよう教材研究を進めていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回ってはいるが、依然として基礎の定着が課題としてあげられる。小テストの実施や復習課題の設定など、基礎的な知識・技能の習得に取り組んでいく。	目標値を大きく上回る結果となった。今後も単元間のつながりや他教科との関連も意識させながらの授業づくりを心がけたい。今後も資料の読み取り、論述等の発問に取り組んでいく。	目標値を大きく上回る結果となった。今後もICTを活用するなど、授業に工夫を凝らし、生徒の関心を高めるとともに、生徒が主体的に学習に取り組めるよう明確な課題設定を心がけていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回る結果となった。問題の傾向を読み取ると、全問題中でも唯一目標値を下回ったのは雨温図と気候区分に関する問題であった。受験で必ず問われる分野であり、復習を行った上で繰り返し練習できるよう、授業を設定する。	目標値を大きく上回る結果となった。テストを中心として表現を必要とする問題に取り組んできた成果が出たものと考えられる。今後の課題は、簡潔に説明する問題に答えられるようになることであり、情報の取捨選択が出来るように、各授業のまとめや小テストの採点を通して指導をしていく。	目標値を大きく上回る結果となった。記述を問われる問題にも積極的に取り組む姿勢を育てるねらいが今回は実現した。今後の課題は、複数の資料をもとに自分の考えを問われたとき、答えられるようになる姿勢と能力を伸ばすことだと考えられる。授業内に積極的に資料を提示し、読み込む活動を採り入れて対応していく。